



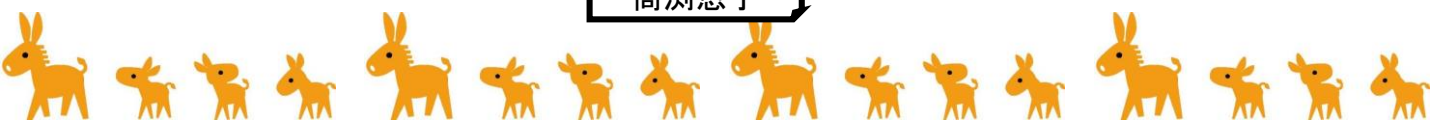
認知症サポーターキャラバン

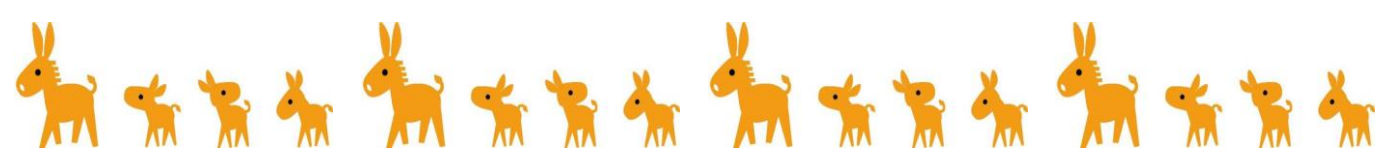
こんにちは！「キャラバン・ロバの会」です。

キャラバン・ロバの会は、認知症の人やその家族を温く見守る応援者『認知症サポーター』の普及・養成を行うキャラバンメイトを中心とした集まりで、平成28年から活動を開始し今年で活動7年目になります。

これまで認知症の理解者や応援者が増える事を願い、ボランティアの会・認知症対応グループホーム・老人クラブ・消防署・一般向け等で、認知症サポーター養成講座を実施、コロナ禍の約2年は月1回の「ロバの会」通信を発行させていただきました。

現在メンバーは8人おります。今年度も自ら学び経験しながら認知症に関する様々な情報のお届け(通信等)やサポーター養成講座を開いていき、地域の中で寄り添い寄り添われて暮らしていけたらと思っています。





今回は「商店編」として「接客困りごとあるある」  
についてお届けします

- ① 店内を長時間ウロウロ、またはぼんやり立っている
- ② レジでの支払いに戸惑って時間がかかる 支払いで困ってしまう認知症の方は多い
- ③ お金を払わずに帰ろうとする
- ④ 同じものを毎回沢山買っていく  
等々……  
時折考えさせられることはありませんか？



…ずいぶん昔の事です…  
人生の先輩がとても怒って家に来たことがあります。

= 買い物に行ったら「昨日もそれ買ったしょ！独りなのにそんなにいらないうしょ！」と言われ「自分のお金で買うんだからいいしょ！」と大声で言い返してきた。なんであんなこと言われなきゃいけないの！ =  
と泣きながら話してくれました。



話を聞き、自宅を訪問すると、冷蔵庫の中は満杯で一人では食べきれない量が入っており、室内には同じ物が入った袋が数個ありました。本人にとっては作ることが好きで、人に食べてもらう事も好き、そして一人が寂しくて友人知人に持って行ったりしていたのです。

小さな町だからといって、他者に対しての言動や行動はこれでいいという事はありません。  
なぜならそれぞれ考え方やとらえ方が違うから………☺

私はしょっちゅう言葉や行動の失敗をし、反省だらけです。でも、周りの家族や友人は、心折れない程度の叱咤激励をしながら、私に寄り添ってくれているので「自分」でいられるのだと思っています。

### どんな病でも「寄り添ってもらえる」ことは最良薬☺

対応の仕方は人それぞれ。いろいろな対応方法を一緒に考えてみませんか？私たち、キャラバンメイトに気軽に声をかけてくださいね。 お問い合わせもお待ちしています！

**【お問い合わせ】キャラバン・ロバの会**  
代表 斉藤千香子 ☎ 090-6215-5822  
地域包括支援センター ☎ 5-1165

